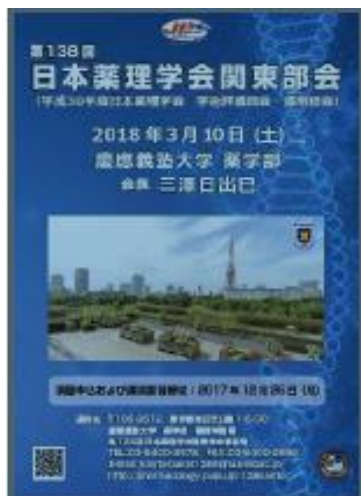
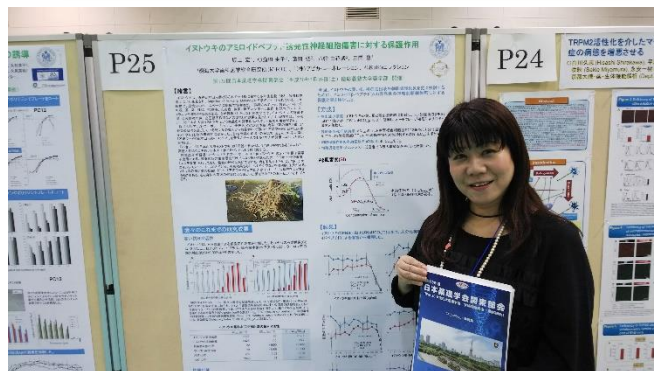


・平成30年3月10日  
第138回日本薬理学会関東部会  
「イヌトウキのアミロイドペプチド誘発性神経細胞傷害に対する保護作用」  
産学協同で論文発表  
明海大学歯科医学総合研究所 (M-RIO) (株) アピカ・コーポレーション  
(株) K'sコレクション



(明海大学坂上教授と)



今回の結果は、前回のイヌトウキの葉と根のアルカリ抽出液が抗HIV活性を示したことと一致しており、共通して細胞保護効果を示す可能性が示唆されました。

今後、分化型の神経細胞についても同様な保護効果を示すか否か検討する予定です。

